

くりっぱ

CREATIVE LEARNING INFORMATION PAPER

子どもたちの創意ある学習活動をバックアップする情報紙



第3号

平成9年(1997年)
3月31日発行
広島県教育委員会

一人一人の 「伸びたい力」を 引き出したい

アジアに興味がある。英語が話せるようになりたい。コンピュータのことをもっと知りたい。ロボットを作ってみたい。絵を描くのが好き、etc…。高校生たちの興味・関心は多種多様。知りたいをエネルギーにして学ぶ楽しさを求めていく。そのプロセスが大切なので。高校で勉強したい生徒全員の進学を保障するとともに、それぞれの個性や可能性を伸ばしていける環境づくりをめざして、高校教育改革を進めていきます。

高校教育改革3つの柱

教育条件の整備

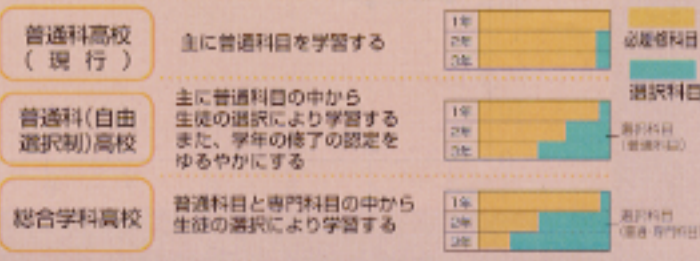
施設・設備の整備や教職員配置の充実など、教育条件の整備に努めます。

選択幅の広いカリキュラム

総合学科や、科目選択の自由度が大きく進級の認定の弾力的な普通科(自由選択制)高校などの設置を進めます。

入学者選抜制度の改善

総合選抜制度の単独選抜への移行や、通学区域等の一部見直しの検討を行います。



Q1 総合学科は、
「これからの高校と大学が繋がる」

A 総合学科は、従来の普通科と専門学科の教育内容をあわせもつ全く新しい学科です。選科科目の割合が約50～60%と高く興味・関心や進路希望などに応じて普通科目、専門科目の両方を含む多くの科目の中から、主体的に科目を選んで学習できるのが特徴です。



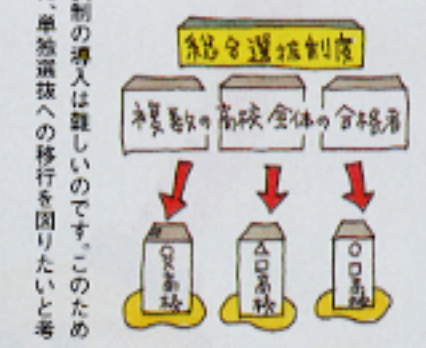
Q2 普通科(自由選択制)高校と従来の普通科、違いがよくわかりません。

A 従来の普通科では選択科目の割合が10%位でしたが、自由選択制では30%程度になり選択の幅がぐっと広がります。それに進級の認定も弾力的。これらことから生徒が自分で計画をたてて学習を進めていくことができます。



Q3 総合選抜制度を単独選抜に移行したから、どうして、いつから変わるの?

A 総合選抜制度は、複数の高校全体としての合格者を決めた後、合格者を希望などにより各高校に配分する制度です。これは各高校が同じような学校であるのが前提の制度です。総合学科の設置や自由選択制の導入は難しいのです。このため平成10年度入試をめどに、単独選抜への移行を図りたいと考えています。



高校教育改革

Q & A

子どもたちが自身が個性を伸ばし、生きる力をつけることができる学校づくりに向けて、高校教育改革はもうはじまっています。しかし、「総合選抜制度」ばかりに話題が集まっているようなので、ここで高校教育改革の全体について理解してほしい。というわけで、皆さんの疑問にお答えします。



Q4 単独選抜に移行したら、今の総合選抜校はどんな学校になるの?

A 単独選抜移行後はそれぞれが特色をもった学校に変わります。一部の学校では総合学科や自由選択制も導入する予定です。各学校の具体的な将来像については、できるだけ早く決定したいと考えています。



Q7 広島市を中心とした4市5区5郡の普通科高校の1部見直しについて

A 現在の14学区制が導入されたのは、今から20年以上前の昭和51年。この間に交通事情や学校数、中学校卒業生数などは大きく変わりました。今後は中学校卒業予定者数が長期にわたって減少していき、学区によるアンバランスも見込まれます。そこで、特に変化の大きな広島市域を中心に通学区域などの一部の見直しの検討を行っています。



Q6 総合選抜校以外の高校は、これからどうなるの?

A 高校教育改革は、総合選抜校だけを対象にしているわけではありません。他の高校の普通科にも総合学科や自由選択制などを導入するとともに、専門学科についても幅広い学習や進路選択ができるよう、取組みを進めていきたいと考えています。



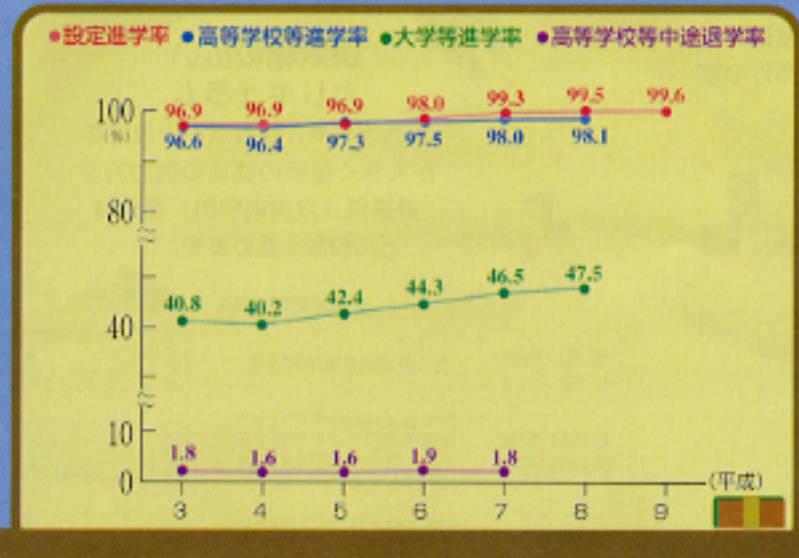
Q5 特定の高校へ志願者が集中するのを防ぐための対策は?

A 総合学科の設置や自由選択制の導入などにより、すべての高校を生徒がより一層進みたいと思うような学校に変えていきます。また、生徒が地元高校に進学しやすいような手立てを考えます。これらにより、受験競争の過熱をおさえたり、遠距離進学などが生じないようにしたいと考えています。



データで見る 高校教育改革

広島県の教育の実態について
データをもとに見てみましょう。



広島県では、高校への進学を希望するすべての生徒の進学を保障するという考え方に立って、設定進学率(中学校卒業生1万人の高校等への見込み進学率)を引き上げ、高等学校等進学率(平成5年においては、47.5%)を全国トップ(47.5%)と定めています。一方、高校等の中途退学率は、最近では、1.6%から1.8%の範囲に推移しています。

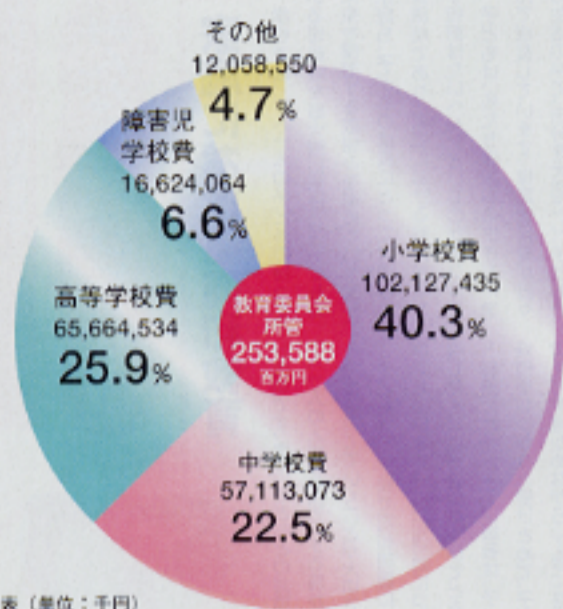
本県における99.6%と高い設定進学率や、入学定率内の不合格者は出さないという目標の達成を考えると、この間のリーダは、一時的な現象を示すものではないと見られます。しかし、高校等の中途退学者数が公私立合わせて、2,000人近くにはなっていることは極めて深刻な問題であり、その解消に向けた施策を、高校教育改革全体の中で、進めていく必要があると認識しています。

今後、高校への進学を希望するすべての生徒の進学を保障するとともに、生徒一人一人の個性や可能性を最大限に伸ばすため、生徒が自分の興味・関心などに応じて学習内容を選択できるようにシステムづくりを進めて、高校教育改革を進めていきます。

子どももたち 一人一人が ひかる 学校づくり

平成9年度の教育委員会当初予算が決まりました。

予算総額は約2,536億円で、県の一般会計当初予算の23.7%を占めています。この予算の中から、来年度の取組のいくつかについて紹介します。



◎図表(単位:千円)

学校教育の充実をめざして

自ら学ぶ意欲を育てる 授業づくり

子どもたちが自ら考え、主体的に判断し、行動できる資質や能力の育成を重視した新しい学力観に立った教育を進めます。
一人一人の状況に応じた学習を実現するために、小中学校でのチームティーチングや高校での小人数指導などを積極的に取り入れていきます。同時に、高校における地域や学校の特徴を生かした科目の導入や自主教材の作成など、子どもたちの実態に応じた学習指導の工夫・改善を進めます。

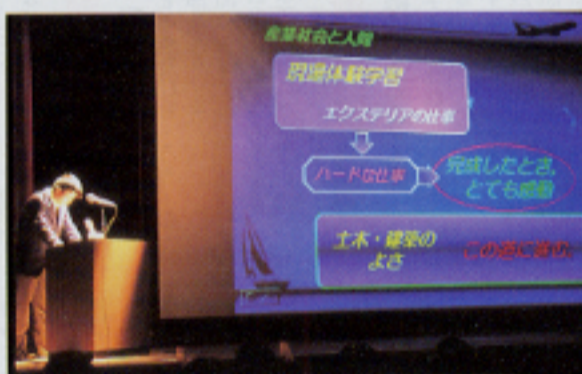


これは何グループかな?興味・関心に応じたコースで算数の学習(3年生3クラスを4人の先生で指導:福山市立光小学校)



高校教育改革の 積極的な推進

学習内容を子どもたちが自ら選べるメニューの豊富な学校づくりを進めます。総合学科を高陽東高校、三次青陵高校に続いて、新たに大竹高校と室長高校に設置するとともに、時代のニーズに対応した専門学科の改編を行います。平成9年度は西条農業高校の食品製造科が食品科学科に、白木高校の畜産科・家政科が普通科に変わります。



総合学科の科目「産業社会と人間」で学んだ成果の発表(保護者や関係者を前にして、自らのライブプランを発表する生徒たち:三次青陵高校)

障害児教育の推進

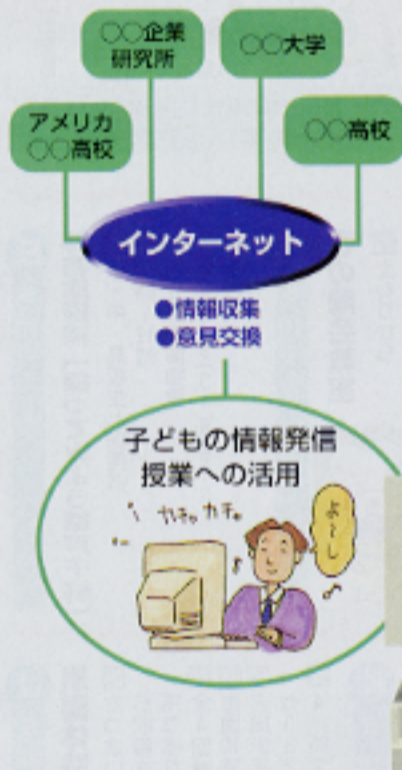
すべての障害をもつ幼児児童生徒が、それぞれの地域社会において安心して生活できることをめざし、市町村教育委員会と連携して社会参加活動を支援していきます。

同和地区児童生徒の 進路保障

家庭・地域・学校が一体となって、地域ぐるみでの学力向上を図り、進学率等の較差解消をめざして、同和地区児童生徒の進路を保障する取組みを進めます。

情報化の進展に対応した 教育の推進

情報や情報手段を主体的に選択し活用する力をはぐくむため、情報機器を計画的に整備します。また、県立高校30校にインターネットを接続し、国内外の学校や研究機関との交流や情報収集に活用していきます。



いじめダイヤル24の利用システム

いじめ相談自動受付システム(県立教育センター)

1 いじめの悩みを話したい

2 自分の好きな時間帯に対する
助言を録音で聞きたい

3 直接いじめの悩みを
相談したい

相談録音

終了時に
パスワード
を指示

パスワードを入力

相談員が対応

月~日曜日(9:00~16:00)

(あらかじめ相談で
対応する助言を録音)

助言を録音再生

いじめ電子メール相談

相談者へ助言メールを送信

いじめ等の 解決にむけて

いじめ等について、子どもたちや保護者がいつでも安心して相談できるよう、自動受付システム・いじめダイヤル24が9年度からスタートします。夜中に急に話したくなった時や名前を言いたくない、直接人と話をしたくないという場合でも、パスワードを使えばアドバイスを聞くことができます。



この他にも、全教職員に指導の参考となる資料を配布したり、地域で指導にあたる地域教育リーダーの養成、カウンセラーや相談員による支援など、総合的な施策を実施します。

※相談受付日:毎日
※受付時間:24時間
※相談料:無料
※匿名で相談可能です。

4月

- 1 ㊦
- 2 ㊦
- 3 ㊦
- 4 ㊦
- 5 ㊦
- 6 ㊦
- 7 ㊦
- 8 ㊦
- 9 ㊦
- 10 ㊦
- 11 ㊦
- 12 ㊦
- 13 ㊦
- 14 ㊦
- 15 ㊦
- 16 ㊦
- 17 ㊦
- 18 ㊦
- 19 ㊦
- 20 ㊦
- 21 ㊦
- 22 ㊦
- 23 ㊦
- 24 ㊦
- 25 ㊦
- 26 ㊦
- 27 ㊦
- 28 ㊦
- 29 ㊦
- 30 ㊦

5月

- 1 ㊦
- 2 ㊦
- 3 ㊦
- 4 ㊦
- 5 ㊦
- 6 ㊦
- 7 ㊦
- 8 ㊦
- 9 ㊦
- 10 ㊦
- 11 ㊦
- 12 ㊦
- 13 ㊦
- 14 ㊦
- 15 ㊦
- 16 ㊦
- 17 ㊦
- 18 ㊦
- 19 ㊦
- 20 ㊦
- 21 ㊦
- 22 ㊦
- 23 ㊦
- 24 ㊦
- 25 ㊦
- 26 ㊦
- 27 ㊦
- 28 ㊦
- 29 ㊦
- 30 ㊦
- 31 ㊦

6月

- 1 ㊦
- 2 ㊦
- 3 ㊦
- 4 ㊦
- 5 ㊦
- 6 ㊦
- 7 ㊦
- 8 ㊦
- 9 ㊦
- 10 ㊦
- 11 ㊦
- 12 ㊦
- 13 ㊦
- 14 ㊦
- 15 ㊦
- 16 ㊦
- 17 ㊦
- 18 ㊦
- 19 ㊦
- 20 ㊦
- 21 ㊦
- 22 ㊦
- 23 ㊦
- 24 ㊦
- 25 ㊦
- 26 ㊦
- 27 ㊦
- 28 ㊦
- 29 ㊦
- 30 ㊦

シリーズ・同和教育3

みんな大切なひとりです

家庭における同和教育

学校では、一人一人の子どもの持つ個性の可能性を最大限に伸ばし、子ども一人一人の人間を大切に育てる豊かな感性を養育する取組みを進めています。家庭も、子ども一人一人の成長にとって大切な教育の場であり、家庭における教育が果たす役割はたいへん大きいものがあります。子どもは、私たち保護者の生き方に学んで成長していきます。保護者自身が日々の生活の中で、自分が大切にしたい子どもや家族、さらにはすべての人々の人権を尊重した考え方や生き方を子どもに示すことが大切で、これが「家庭における同和教育」と考えています。



私たちは、「子どもが、自分の力を発揮し、しあわせな生活を送ってもらいたい」と願っています。同和教育を解決することは、憲法にうたわれている基本的人権を保障することであり、私たち一人一人の権利を拡大し、みんながしあわせな生活を送ることにつながります。そのために、子どもの授業参観やPTA研修会に参加したり、社会科の教科書や同和教育に関する資料、学校だよりや学級だよりなどを読んでいただき、学校ですべての同和教育の具体的な取組みについて理解することにも、地域で開催されている住民学習会や講演会などにもぜひ参加し、家族ぐるみで同和教育や同和教育についての理解を深めていきたいと思います。

今年のゴールデン・ウィークは、美術館や博物館で歴史を身近に感じてみませんか？

毛利元就展

戦国時代の武将・毛利元就ゆかりの美術品など、中世の地方文化を代表する文化財の数々を展示します。



毛利元就 (原画・毛利博物館蔵)

考古企画展

掘り出された中世の安芸・備後、瀬戸内・尾道・広島、備前・備後各地の遺跡から出土品をもち、中世の人々の暮らしや国内外との活発な交流の様子を明らかにします。



備前・備後 (複製画) 出土品

医師・窪田次郎の自由民権運動

備後地方の農村の医師であり、自由民権運動家としても知られる窪田次郎を紹介いたします。



明治初期の備後の自由民権運動家たち

家族で遊ぼうホリデー おでかけガイド



①-内容 ②-参加対象者 ③-時間 ④-場所
⑤-問い合わせ・申込先 ⑥-受付期間

- A 4/26(土)**
春の自然を味わおう！
吉田少年自然の家
08226(42)2311
4/19(土)まで
- B 4/26(土)**
作品解説会「日本の版画」
小学校5・6年生及び言・ろし・蒼
瀬小学校 5・6年生
11時～11時30分
県立美術館 082(22)6246
4/18(金)まで 往復はがきで
- C 4/28(日)・4/27(日)**
子ども自然探検クラブ・春
おもしろ科学・自然体験・虫探しづくり、
春の星空観察
小学生・中学生
26日13時～27日15時30分
福山少年自然の家
0849(35)7166
4/9(水)まで
- D 5/10(日)**
ウィークエンドチャレンジサークル
自然の木を使った木工工作
クラフトゴルフ
児童・生徒・保護者
9時～15時
七塚原青年の家
082247(4)0111
5/3(土)・4/27(日)まで

- E 5/10(日)**
博物館探検「探ってみよう草戸千軒」
小・中・高校生と保護者
10時～12時
県立歴史博物館
0849(31)2513
5/3(土)まで
- F 5/10(日)・6/14(日)**
春の陶芸教室
陶土ねりから
釉薬かけまで
陶芸作品の制作
2回参加できる児童・生徒
各日とも10時～15時
ふれあいの里青年の家
08487(6)2411
5/3(土)まで
- G 5/24(日)**
自然大好き
ファミリーの
ついで
ウオーケラリー、
草木染
幼・小・中学生と
保護者
福山少年自然の家
0849(35)7166
4/23(水)～5/7(水)
- H 5/24(日)**
作品解説会
「1920～30年代の美術」
小学校5・6年生及び言・ろし・蒼瀬
小学校 5・6年生
11時～11時30分
県立美術館 082(22)6246
5/16(金)まで 往復はがきで
- I 5/24(日)・6/26(日)**
生涯学習ボランティア促進講座・
であいトーク
創作活動、講義、スポーツ活動等
青年からとんでも
24日13時～26日12時
七塚原青年の家
082247(4)0111
5/17(土)まで

- J 5/24(日)・7/12(日)・8/9(日)・10/25(日)**
農園体験Ⅰ～Ⅳ
園さつまいも、トマト等の植え付けから収穫までを体験。収穫した野菜は持ち帰れます。
計4回参加できる家族(10家族程度)
毎回10時～15時
吉田少年自然の家
08226(42)2311
4/25(金)～5/17(土)
- K 6/14(日)**
ウィークエンドチャレンジサークル
ダンボールを使った創作活動
児童・生徒・保護者
9時～15時
七塚原青年の家
082247(4)0111
6/7(土)まで
- L 6/28(日)**
作品解説会「アジアの工芸」
小学校5・6年生及び言・ろし・蒼瀬
小学校 5・6年生
11時～11時30分
県立美術館 082(22)6246
6/20(金)まで 往復はがきで
- M 6/28(日)**
子ども博物館教室「蘭草を織る」
小・中・高校生と保護者
10時～14時
県立歴史博物館
0849(31)2513
6/14(土)まで
- N 6/28(日)・6/29(日)**
子ども自然探検クラブ・夏
おもしろ科学・自然体験・夏の虫探し観察
小学生・中学生
福山少年自然の家
0849(35)7166
5/28(水)～6/11(水)
- O 6/28(日)・6/29(日)**
親子の科学教室
昆虫について学びます
小・中学生と保護者・家族
28日10時～29日15時
吉田少年自然の家
08226(42)2311
5/28(水)～6/21(土)

奨学金の月額

在学	入学年度	国・公立		私立	
		自宅	自宅外	自宅	自宅外
高校	平成9年	16,000	21,000	28,000	33,000
	平成8・7年	14,000	19,000	26,000	31,000
	平成6年	13,000	18,000	25,000	30,000
予約 大学 短大	平成10年	16,000	21,000	28,000	33,000
		19,000	20,500	30,000	33,000
		40,000	46,000	49,000	59,000
		40,000	46,000	48,000	55,000

問い合わせ先 各学校奨学金担当の先生または日本育英会広島県支部
広島市中区中町8-18 TEL 082-249-9443

授業料等の減免

広島県では、生活保護(生活扶助)を受けている世帯や市町村民税が非課税の世帯などを対象に、県立高等学校の授業料および受講料の減免を行っています。減免の申込みは各高等学校で受け付けておりますので、お電話にてご確認ください。

日本育英会奨学生募集

4月上旬より日本育英会奨学生の募集を国が実施します。これは学費の一部として国が補助する奨学金(無利子)で、広島県では高校生だけでなく約3,000人が利用しています。希望する人は学校に申し出てください。

授業料等減免制度や奨学金制度を活用してください